

2025 年 9 月 9 日

## 企業版ふるさと納税贈呈式の社長挨拶

久米島の方々には日頃からお世話を頂きお礼を申し上げます。現在、久米島支店では久米島で生まれ育った 26 名の方々が在籍しお仕事をさせて頂いています。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、「企業版ふるさと納税贈呈」の経緯と意思に関するお話の前に私事ではありますが、私は西表島の出身です。「離島である旨の良さと厳しさ」を子供のころから感じながら育ってきました。特に西表島には高等学校が無く「15 歳の春」には島（親元）を離れ学生生活を送ります。これは西表島以外の高校の無い島々では同じような経験を重ね、社会人となり「夢と希望を持ち」多方面で多くの方々が活躍されています。私自身がそんな環境の中で育って来ましたので、特に離島で生まれた方々は「生まれ島」に対して、島で生まれた「誇りと自慢と感謝」をもって人生を歩んで参りました。

このような事も有り、私は何年か前から弊社の企業活動の一つとして、「ご縁のある島々へ感謝」し「社会貢献活動」を通して何らかの「感謝のお返し」を行いたいとの思いが溢れて来ました。2021 年「奄美大島・徳之島・沖縄本島北部及び西表島」が「ユネスコ世界事前遺産」に登録された年に、弊社として初めて竹富町に「企業版ふるさと納税」をさせて頂きました。その後、2022 年「久米島町政 20 周年記念」、2025 年「宮古島市政 20 周年」を記念し「ご縁のある行政」に感謝の「企業版ふるさと納税」をさせて頂きました。これは、日頃お世話になっているお客様や「地域社会の皆様への感謝」とお役に立ちたいという弊社の思いからでした。

実を申しますと久米島町への「企業版ふるさと納税」は終わったと認識していましたが、一ヵ月程前に弊社の久米島支店から、桃原町長がお会いしたいとの連絡があり、突然なんだろうと思いながら、桃原町長をはじめ映画「おーるーブルー」応援実行委員の皆様が、弊社へ来社されました。その際に多くの方々から久米島への思い、映画「おーるーブルー」に対する熱い想いのお話を聞かせて頂きました。面談の中で桃原町長から「企業版ふるさと納税」の話は何故か一切出ませんでした。これは「2 回目の企業版ふるさと納税をしてくれ」という事と認識し、今回の面談になった事を理解しました。

翌日、弊社の役員に集ってもらい協議を行い、「久米島町の観光を中心とした経済振興」をぜひ応援したいという強い思いから、「企業版ふるさと納税」協賛の方針が決定しました。

私は久米島で生まれ育って、久米島で高校を卒業した後に沖縄本島や県外で生活したり、久米島と関わる多くの方々に感謝をしたい。との思いから「企業版ふるさと納税」をさせて頂きました。

この協賛が、久米島町の地域社会の発展のお役に立てる事を心より願っております。

この度の、映画「おーるーブルー」を通して久米島の魅力を国内・海外へ発信して頂き、力強い久米島でありますようにお祈り申し上げます。

以 上